

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	生涯学習指導員設置事業				事業通番	4439	
					開始年度	平成17年度	
総合計画体系	政策	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	終了年度	--	
	施策	5-2	施策名	生涯学習の充実	担当課名	教育文化課	
予算科目	会計	一般会計		款	教育費	担当係名	公民館
	項	社会教育費		目	公民館費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町生涯学習指導員設置要綱					
事務事業の概要	地域の有能な人材を活用し、地域に根ざした特色ある生涯学習事業を展開するために、生涯学習指導員を設置する。					
対象（誰、何を）	町民					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	生涯学習に関する指導、学習相談が受けられる。 生涯学習の受講機会を提供する。					
成果の考え方	町民のニーズにあった公民館事業が実施され、町民が生きがいをもって個々の学習環境づくりが図られる。					
【成果指標】					単位	
A	生涯学習指導員設置数					人
B						

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	17,084	18,912	19,414	22,647	483
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他	67	49	46	49	
一般財源	17,017	18,863	19,368	22,598	483

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	13	13	15	15
	13	13	13	15	15
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	公民館3人、高田生涯学習センター2人、宮川生涯学習センター4人、本郷生涯学習センター3人、新鶴生涯学習センター3人の計15人を配置し、町民の学習ニーズを捉え領域別対象に各種講座など、公民館事業や生涯学習センター事業を企画し実施した。
成果	これまでの公民館事業を継続実施するとともに、内容を見直し、町民のニーズに沿った生涯学習事業の企画や運営をすることができた。また合同事業を開催するなど事業内容の充実に図られ、参加者の学習意欲と交流が図られた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合		
【今後の改善方針】		
公民館や生涯学習センター事業のさらなる推進を図るため、生涯学習指導員の資質向上や均衡化を図る。今後は「公民館活動事業」の一環として、生涯学習推進のための優秀な人材確保に務めていく。		
成果の方向性	現状維持	(理由) 町民ニーズにあった生涯学習事業推進のため事業を統合し、「公民館活動事業」において生涯学習指導員の確保に務める。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	家庭教育開設事業				事業通番	5091		
					開始年度	平成17年度		
総合計画体系	政策	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	終了年度	--		
	施策	5-2	施策名	生涯学習の充実	担当課名	教育文化課		
予算科目	会計	一般会計		款	教育費		担当係名	生涯文化係
	項	社会教育費		目	公民館費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	なし						
事務事業の概要	家庭の教育力の向上を図るため、家庭教育学級・講座や関連事業の開設を図る。						
対象（誰、何を）	町内保育所・幼稚園・小中学校の保護者						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	家庭での教育力の向上を図れる。						
成果の考え方	各講座に参加し、知識を習得することで、家庭での教育力が向上する。						
【成果指標】							単位
A 延べ参加者数							人
B -							-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	59	175	281	57	41
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	59	175	281	57	41

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	170	200	120	120
	156	184	433	144	103
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	・町内の小学校3校における就学時健康診断の際に保護者を対象とした家庭教育講演会を実施した。
成果	・103名の保護者が講演会に参加し、子どもが家族とのふれあいを通じて、基本的な生活習慣等を身につけること、家庭教育の担い手である保護者としての自覚を促すことができた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
家庭教育・こども教育・福祉部局の連携を深め、子育て講座や年齢に応じた子どもとの向き合い方を学ぶ学習会、親子がふれあえる交事業など、家庭教育学級・講座等の家庭教育関連事業の充実を図る。	
成果の方向性	現状維持 (理由) 地域全体で家庭教育を応援し、支えていく体制づくりを推進し、青少年健全育成等と併せ、「生涯学習振興事業」で関連する事業を拡充していく。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	いきいき体験事業				事業通番	5092		
					開始年度	平成21年度		
総合計画体系	政策	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	終了年度	--		
	施策	5-2	施策名	生涯学習の充実	担当課名	教育文化課		
予算科目	会計	一般会計		款	教育費		担当係名	公民館
	項	社会教育費		目	公民館費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	-	
事務事業の概要	夏休み期間を利用し、小学生が自然・科学技術などの生きた体験をすることにより、豊かな心を育むとともに、学習への関心や意欲を高める機会とする。	
対象（誰、何を）	町内在住の小学生	
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	豊かな心を育む機会を持つ	
成果の考え方	参加した保護者を対象に、「豊かな心を育む機会」となったかアンケート調査を行う。	
【成果指標】		単位
A 豊かな心を育む機会となったと感じる割合		%
B		

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	72	111	328	211	0
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	72	111	328	211	0

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	90	90	90	90
	83	53	93	92	0
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止した。
成果	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止した。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	次年度からは「公民館活動事業」の一環として、青少年を対象に自然・科学技術などの生きた体験学習を実施していく。	
成果の方向性	現状維持	(理由) 子どもたちの豊かな心を育むため、自然・科学技術などの生きた体験学習は必要と考え、次年度から「公民館活動事業」の中で取り組んでいく。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	高田地域放課後子ども教室推進事業				事業通番	5097		
					開始年度	平成16年度		
総合計画体系	政策	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	終了年度	--		
	施策	5-2	施策名	生涯学習の充実	担当課名	教育文化課		
予算科目	会計	一般会計		款	教育費		担当係名	公民館
	項	社会教育費		目	生涯学習センター費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	第2期会津美里町教育振興基本計画						
事務事業の概要	放課後の児童に対して安全・安心な居場所を提供し、体験活動や地域の方々との交流の機会を通して、豊かな人間形成と社会全体で子どもを育む環境の充実を図る。						
対象（誰、何を）	高田小学校及び宮川小学校の児童						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	体験活動や地域の方々との交流の機会を通して、豊かな人間形成が図られる。						
成果の考え方	高田小学校及び宮川小学校登録児童の延べ参加者数						
【成果指標】							単位
A 延べ参加者数							人
B -							-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	946	950	962	983	931
国庫支出金					
県支出金	586	919	931	983	876
地方債					
その他					
一般財源	360	31	31	0	55

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	1,500	1,500	1,500	1,500
	1,576	1,558	1,545	1,644	1,265
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	各小学校区において放課後子ども教室を開設し、子どもの居場所づくり活動を実施した。 風の子スクール(高田小学校、6~2月金曜日活動):登録者数31人、実施日数18日、参加延べ人数481人 わくわく宮川(宮川小学校、8~2月金曜日活動):登録者数57人、実施日数21日、参加延べ人数784人 冬季休業中4回の学習支援事業を開催し、6人の児童の参加があった。
成果	体験活動や地域の方々にボランティア支援をいただくなど、子どもたちの成長を地域全体で育む環境の充実が図られた。 学習支援事業は、児童の学習意欲向上とつまづき解消の一助となった。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	「放課後子ども教室」事業は継続して実施していくが、令和3年度より地域学校協働本部事業の一事業として実施していく。	
成果の方向性	拡充	(理由) 補助事業の変更により、令和3年度からは地域学校協働本部事業の一事業として実施していくため。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	高田地域文化祭開催事業				事業通番	5260		
					開始年度	平成17年度		
総合計画体系	政策	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり		終了年度	--	
	施策	5-2	施策名	生涯学習の充実		担当課名	教育文化課	
予算科目	会計	一般会計		款	教育費		担当係名	公民館
	項	社会教育費		目	生涯学習センター費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町生涯学習振興事業補助金交付要綱						
事務事業の概要	各種団体や個人の作品を展示する機会を提供することで、創作活動の活性化を促し、出品者と鑑賞者との自由なふれあい、交流を深める。また、芸能フェスティバル、鼓笛吹奏楽パレードの発表機会を提供し、各団体活動の活性化を促すとともに町民に鑑賞の機会を提供する。						
対象（誰、何を）	町民（高田地域）						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	展示、発表を契機に芸術文化活動への興味関心が高まり、より積極的な活動に取り組む団体、町民が増える。						
成果の考え方	A. 作品の総出品数を成果として捉え指標とする。 B. 文化祭参加者数を成果として捉え指標とする。 平成29年度まで、成果指標B「来場者数」						
【成果指標】							単位
A 総出品数							点
B 参加者数							人

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	618	606	596	578	395
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	618	606	596	578	395

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	1,000	1,200	1,200	1,200
	1,088	1,095	1,361	1,595	671
B	-	1,500	1,700	1,700	1,700
	1,832	1,788	1,668	1,627	1,201

(3) 活動実績及び成果

活動実績	感染症拡大防止対策として会場をじげんプラザに変更し、期間を延長して1部2部の入れ替え制にして展示のみ実施した。体験活動や共催事業の芸能フェスティバルと高田管内小中学生による鼓笛パレードは中止した。出展団体が、運営委員会と相互に協力し、自主運営に努めた。また幅広い年齢層の住民が出展品を鑑賞するなど多くの来場があった。
成果	感染症防止対策により展示のみではあったが、参加団体の日々の活動の成果を発表する場となり、鑑賞者との町民の交流が図られた。またじげんホールを活用した展示、上映会などを実施したことで、より一層芸術文化活動への興味関心が高まった。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合		
【今後の改善方針】		
コロナ感染対策を踏まえ、生涯学習センター活動事業の一環として、各地域の文化活動等の発表の場、交流の場となるよう各文化祭運営委員会への支援をしていく。		
成果の方向性	現状維持	(理由) 「生涯学習センター活動事業」の一環として、各地域の文化活動等の発表の場として各文化祭運営委員会への支援をしていく。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	会津美里町公民館活動事業				事業通番	5275		
					開始年度	平成25年度		
総合計画体系	政策	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり		終了年度	--	
	施策	5-2	施策名	生涯学習の充実		担当課名	教育文化課	
予算科目	会計	一般会計		款	教育費		担当係名	公民館
	項	社会教育費		目	公民館費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町公民館組織規則						
事務事業の概要	生涯学習の推進を図るため、対象別（成人・高齢者等）課題別などの継続的な講座や講演会などを開催する。また、各地域生涯学習センターとの連絡調整を図る。						
対象（誰、何を）	町民						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	公民館事業に参加することで、親睦・融和・学習意欲の高揚さらには生きがいの醸成が図られる。						
成果の考え方	各講座等の延べ参加者数						
【成果指標】							単位
A 延べ参加者数							人
B -							-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	1,687	1,454	1,673	860	330
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他	150	242	248		
一般財源	1,537	1,212	1,425	860	330

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	1,500	1,600	1,600	1,600
	1,519	1,433	1,444	1,679	757
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	社会教育・生涯学習の推進を図るためニーズに沿った継続的な講座や講演会などを実施した。 美里楽園(学習会8回:感染症防止対策のため1つの学習会の回数を2回に増やす等で全15回)、延べ参加人数533人)、子ども琴教室(10回、延べ参加人数103人)、子ども茶道教室(10回、延べ参加人数121人) 新型コロナウイルス感染症防止対策のため、中止や延期を含め、活動の状況に応じた様々な対策を取りながら実施した。
成果	ニーズに沿った学習会を取り入れることにより学習意欲の高揚がみられた。また活動を通じて、いろいろな人と交流をすることにより生きがいが見出され、生涯学習の推進が図られた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合		
【今後の改善方針】		
感染対策を踏まえた事業内容の検討をし、生涯学習センターや図書館との連携事業を取り入れる等、町全体的な生涯学習事業の推進に努める。		
成果の方向性	現状維持	(理由) 町民の学習意欲の高揚と町民の交流を図るため公民館事業は有効であり、継続して事業実施し、生涯学習の推進を図っていく。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	社会教育指導員設置事業				事業通番	5287	
					開始年度	平成17年度	
総合計画体系	政策	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	終了年度	--	
	施策	5-2	施策名	生涯学習の充実	担当課名	教育文化課	
予算科目	会計	一般会計		款	教育費	担当係名	公民館
	項	社会教育費		目	社会教育総務費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町社会教育指導員設置要綱					
事務事業の概要	社会教育に関する事業の編成及び実施に関する指導助言、社会教育関係団体の育成への指導助言をおこない、社会教育の振興を図るため、社会教育指導員を設置する。					
対象（誰、何を）	町民					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	社会教育に関する指導助言、学習相談が受けられる。多様な生涯学習の機会を提供できる。					
成果の考え方	社会教育活動の活性化が図られており、生涯学習の振興と町づくりに寄与する。					
【成果指標】						単位
A	社会教育指導員の設置数					人
B						

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	4,094	5,251	5,491	2,333	745
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他	15	12			
一般財源	4,079	5,239	5,491	2,333	745

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	3	3	1	1
	3	3	3	1	1
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	町全体の社会教育の中心的役割を担い、また生涯学習指導員の指導・相談にあたった。公民館や各生涯学習センター事業の反省、評価を踏まえて次年度に向けての事業見直しにつなげた。また会津美里町公民館事業運営協議会を担当し、委員からの意見集約を図った。生涯学習指導員研修の場として2回情報交換会を開催し、他生涯学習センターとの交流も含め資質向上に努めた。
成果	生涯学習重点目標に沿った意見を述べ、教育振興基本計画策定となった。公民館事業運営協議会において、公民館や生涯学習センター事業への委員から様々な意見を聞くことができた。新たに「美里楽園」の運営を軌道に乗せ確立することができた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
令和3年度からは「公民館活動事業」において、継続して指導員の資質向上や情報共有のための研修機会の確保に務めるため、指導的役割を担う社会教育指導員を継続し設置していく。	
成果の方向性	(理由) 町全体の生涯学習推進のため、生涯学習指導員の指導的役割を担う社会教育指導員1名を継続設置し、指導員の資質向上を図るため、現状を維持する。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	成人式開催事業				事業通番	5308		
					開始年度	平成17年度		
総合計画体系	政策	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	終了年度	--		
	施策	5-2	施策名	生涯学習の充実	担当課名	教育文化課		
予算科目	会計	一般会計		款	教育費		担当係名	生涯文化係
	項	社会教育費		目	社会教育総務費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	国民の祝日に関する法律	
事務事業の概要	大人としての自覚や新成人者の門出を祝福するため、毎年8月15日に成人式を開催する。	
対象（誰、何を）	①町内在住の新成人 ②町外在住の本町出身新成人	
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	成人となった門出を祝福し、大人としての自覚を持ってもらう。	
成果の考え方	成人式へ出席することで、成人の祝福とともに大人としての自覚を持つことができる。	
【成果指標】	単位	
A 参加者数	人	
B -	-	

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	370	465	427	437	481
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	370	465	427	437	481

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	185	190	190	190
	185	187	177	174	190
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により8月15日の成人式開催を見送り、1月に延期した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の再拡大により、1月10日に延期していた成人式を中止した。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典等は中止となったものの成人証書・記念品等に加え、各種啓発パンフレットを送付し、町として新成人を祝福するとともに社会的マナーなどの意識啓発に努めた。</li> </ul>

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合		
【今後の改善方針】	令和3年度以降の成人式は、新たな開催方針の周知に加え、早期に実行委員会を立ち上げ記念事業を周知する必要がある。 なお、新型コロナウイルスの再拡大の場合の対応を想定し、対応方針を検討する。		
成果の方向性	現状維持	(理由) 今後は、町・教育委員会において成人式式典を実施するとともに、新成人を含む実行委員会が成人式記念事業の企画・運営を行うことにより、新成人が主体的に社会に参加し協働する機会を創出し青少年健全育成を図る。	



事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	新鶴地域放課後子ども教室推進事業				事業通番	5485		
					開始年度	平成17年度		
総合計画体系	政策	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	終了年度	--		
	施策	5-2	施策名	生涯学習の充実	担当課名	教育文化課		
予算科目	会計	一般会計		款	教育費		担当係名	新鶴生涯学習センター
	項	社会教育費		目	生涯学習センター費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	第2期会津美里町教育振興基本計画						
事務事業の概要	放課後の児童に対して安全・安心な居場所を提供し、体験活動や地域の方々との交流の機会を通して、豊かな人間形成と社会全体で子どもを育む環境の充実を図る。						
対象（誰、何を）	新鶴小学校の児童						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	体験活動や地域の方々との交流の機会を通して、豊かな人間形成が図られる。						
成果の考え方	参加者数						
【成果指標】							単位
A 延べ参加人数							人
B -							-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	632	667	628	648	420
国庫支出金					
県支出金	626	660	628	648	395
地方債					
その他					
一般財源	6	7	0	0	25

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	2,800	2,800	2,500	2,500
	2,624	2,687	2,481	1,974	828
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	新型コロナウイルス感染拡大防止対策状況を踏まえ、2学期から活動を開始し9月～1月水曜日活動(登録者数78人)、18回の活動となった。内容は、自由遊びを中心に季節に応じ、昔遊び・しゃぼん玉・団子さし等を実施した。また冬休み期間中に学習支援事業を行った。2月の活動は感染症防止対策により中止とした。
成果	放課後児童クラブと連携しての活動を実施し、体験活動や地域ボランティアの方との交流を図る等、地域全体で子ども達を育む環境の充実が図られた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】		
<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合		
【今後の改善方針】		
「放課後子ども教室」事業は継続して実施していくが、令和3年度より地域学校協働本部事業の一事業として実施していく。		
成果の方向性	拡充	(理由) 補助事業への移行により、令和3年度からは地域学校協働本部事業の一事業として実施していくことで、事業を拡充する。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	新鶴地域文化祭開催事業				事業通番	5499	
					開始年度	--	
総合計画体系	政策	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	終了年度	--	
	施策	5-2	施策名	生涯学習の充実	担当課名	教育文化課	
予算科目	会計	一般会計		款	教育費	担当係名	新鶴生涯学習センター
	項	社会教育費		目	生涯学習センター費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町生涯学習振興事業補助金交付要綱					
事務事業の概要	新鶴地域の文化や産業・教育に係わる各種団体や個人がその自発的な意思により参加し、日頃の成果等を発表するとともに、参加者と鑑賞者との自由なふれあい、交流を通して、地域の文化や産業・教育の発展向上を図る。					
対象（誰、何を）	町民（新鶴地域）					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	文化活動の発表の機会を持つ。文化に触れる機会を持つ。					
成果の考え方	作品の出品数					
【成果指標】					単位	
A	総出品数					点
B						

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	405	379	366	361	172
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	405	379	366	361	172

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	650	650	600	600
	331	622	475	482	407
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、作品の展示(17団体参加)のみとし、オープンセレモニーは実行委員が参加し、イベント等の開催は中止とした。
成果	感染症拡大防止対策によりイベントを中止としたため、2日間で288人と来場者は低迷したが、新鶴地域の文化や産業・教育に係わる各種団体、個人が日頃の成果を発表することが出来、地域文化活動の意欲高揚に繋がった。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合		
【今後の改善方針】		
コロナ感染対策を踏まえ、「生涯学習センター活動事業」の一環として、文化団体の育成を図りながら、新鶴地域の文化活動等の発表の場、多くの町民に芸術文化に触れられる機会となるよう文化祭運営委員会への支援をしていく。		
成果の方向性	現状維持	(理由) 「生涯学習センター活動事業」の一環として、地域の文化活動等の発表の場として文化祭運営委員会への支援をしていく。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	本郷地域放課後子ども教室推進事業				事業通番	5518		
					開始年度	平成17年度		
総合計画体系	政策	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	終了年度	--		
	施策	5-2	施策名	生涯学習の充実	担当課名	教育文化課		
予算科目	会計	一般会計		款	教育費		担当係名	本郷生涯学習センター
	項	社会教育費		目	生涯学習センター費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	放課後子どもプラン・町生涯学習振興計画						
事務事業の概要	放課後の児童に対して安全・安心な居場所を提供し、体験活動や地域の方々との交流の機会を通して豊かな人間形成と社会全体で子どもを育む環境の充実を図る。						
対象（誰、何を）	本郷地域の小学生						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	体験活動や地域の方々との交流の機会を通じて、豊かな人間形成が図られる。						
成果の考え方	地域の方々に係ってもらうことにより、子どもたちが安全安心過ごせる時間と居場所を提供する。						
【成果指標】							単位
A 延べ参加者数							人
B 開催回数							回

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	510	530	642	794	451
国庫支出金					
県支出金	503	530	637	778	406
地方債					
その他					
一般財源	7	0	5	16	45

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	1,000	1,000	1,000	1,000
	856	1,066	1,543	1,230	253
B	-	40	40	40	40
	37	34	40	40	18

(3) 活動実績及び成果

活動実績	新型コロナウイルス感染拡大防止のため1学期の開催を延期し、9月に開講式を行い1月まで18回開催した。(登録25人) 延べ253人の児童が参加し工作・むかし遊び・ニュースポーツ等の体験活動を実施した。2月の活動は、感染症防止対策により中止とした。
成果	体験活動や地域ボランティアの方との交流を図る等、活動を通して地域全体で子ども達を育む環境の充実が図られた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	「放課後子ども教室」事業は継続して実施していくが、令和3年度より地域学校協働本部事業の一事業として実施していく。	
成果の方向性	拡充	(理由) 補助事業への移行により、令和3年度からは地域学校協働本部事業の一事業として実施していくことで、事業を拡充する。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	本郷地域文化祭開催事業				事業通番	5519	
					開始年度	--	
総合計画体系	政策	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	終了年度	--	
	施策	5-2	施策名	生涯学習の充実	担当課名	教育文化課	
予算科目	会計	一般会計		款	教育費	担当係名	本郷生涯学習センター
	項	社会教育費		目	生涯学習センター費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町生涯学習センター条例・会津美里町生涯学習センター条例施行規則・					
事務事業の概要	本郷地域の文化や産業・教育に係わる各種団体や個人がその自発的な意思により参加し、日頃の成果を発表するとともに、参加者と鑑賞者との自由なふれあい、交流を通して、地域の文化や産業・教育の発展向上を図る。					
対象（誰、何を）	町民（本郷地域）					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	文化活動の発表の機会を持つ。 文化に触れる機会を持つ。					
成果の考え方	地域住民全体を対象とした文化振興事業は本事業しかなく、生涯学習推進と参加者の生きがいがづくりにも貢献している。					
【成果指標】						単位
A 延べ来場者数						人
B -						-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	353	343	339	329	0
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	353	343	339	329	0

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	1,700	1,400	1,400	1,400
	1,500	1,400	1,400	1,400	0
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため文化祭を中止とした。
成果	感染症拡大防止対策のため中止とした。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合		
【今後の改善方針】		
来年度は「生涯学習センター活動事業」の一環として、地域で活動している団体にも参加を促し交流を促進するため、文化祭開催に向けて支援していく。		
成果の方向性	現状維持	(理由) 地域における年間の活動成果の発表の場である文化祭開催は必要であり、「生涯学習センター活動事業」において取り組んでいく。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	本のある暮らしの拠点プロジェクト（図書館）				事業通番	15575		
					開始年度	平成31年度		
総合計画体系	政策	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	終了年度	--		
	施策	5-2	施策名	生涯学習の充実	担当課名	教育文化課		
予算科目	会計	一般会計		款	教育費		担当係名	公民館
	項	社会教育費		目	図書館費		重点プロジェクト	該当

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	図書館法 会津美里町図書館条例						
事務事業の概要	図書館法、図書館条例に基づき住民のための図書館運営に努め、図書資料の貸出しや読書相談、イベント等を通じて利用の拡大を図り、開かれた図書館の実現を目指す。						
対象（誰、何を）	町民						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	求める図書資料が提供できる。						
成果の考え方	購入計画等により図書資料が整備される。						
【成果指標】							単位
A	図書資料						冊
B	図書館利用カード登録者						人

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)				23,113	15,092
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他				18	
一般財源				23,095	15,092

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	-	-	17,000	26,000
	-	-	-	24,809	30,986
B	-	-	-	1,000	2,000
	-	-	-	1,688	2,029

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館協議会開催(4回):運営方針、事業計画・実績、第2代会津美里町子ども読書活動推進計画作成協議など</li> <li>・イベントの開催:映画会、おはなし会、クリスマス会、本の福袋、朗読会、ブックカフェなど</li> <li>・図書展示:イベントに合わせた展示、震災関連展示、話題の本など</li> <li>・図書購入4,032冊、譲受図書633冊(県立図書館より)、年度末蔵書数30,986冊</li> </ul>
成果	蔵書整備については、購入の他、2,214冊の寄贈を受入れ、また県立図書館の支援図書を活用し、蔵書の充実を図ることができた。開館2年目の目標値である成果指標を達成することができた。 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえながらイベント等を開催し、利用者の拡大を図ることができた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合		
【今後の改善方針】		
計画的な蔵書整備、学校図書館や生涯学習センター事業図書室との連携を図りながら、また職員の自己研鑽のための研修の機会を図りながら、読書推進のための情報発信に努める。		
成果の方向性	現状維持	(理由) 町民のための知の拠点となる図書館の円滑な運営に努め、県立図書館や生涯学習センター図書室・学校図書館など関係機関との連携を進めていく。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	生涯学習センター活動事業				事業通番	15770	
					開始年度	平成31年度	
総合計画体系	政策	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	終了年度	--	
	施策	5-2	施策名	生涯学習の充実	担当課名	教育文化課	
予算科目	会計	一般会計		款	教育費	担当係名	宮川生涯学習センター
	項	社会教育費		目	生涯学習センター費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町生涯学習センター条例、会津美里町生涯学習センター条例施行規則					
事務事業の概要	各生涯学習センターを拠点として生涯学習の推進を図り、対象・分野別の講座等を開催することにより地域に根ざした活動を展開し、センター利用促進に努める。					
対象（誰、何を）	町民					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	各センターでの各種講座へ参加することで、学びの場を広げ積極的に生涯学習活動ができること。					
成果の考え方	各種講座参加者数の増加を成果として捉え、指標を設定する。					
【成果指標】					単位	
A	延べ参加者数					人
B	-					-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)				5,062	2,193
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他				37	
一般財源				5,025	2,193

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	-	-	5,000	3,000
	-	-	-	2,969	1,198
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	感染症防止対策により講座等事業の中止や延期などしたが、感染症対策を図りながら各地域の生涯学習の拠点として、対象・分野別の各種講座を実施した。 高田:青少年2回、成人9回 宮川:青少年3回、成人13回、高齢者3回(その他、各地区でのうんどう教室開催) 本郷:青少年1回、成人10回 新鶴:青少年(和太鼓、ヤンボラ他)、成人4回、高齢者7回 各地区・地域での生涯スポーツ事業は感染症対策により実施できなかった。(新鶴地域の健康ウォークのみ実施)
成果	各生涯学習センターにおいての地域活動推進会議や各地区実行委員会議での意見をいただきながら、感染症対策を踏まえた対象別・分野別の各種講座を開催し、生涯学習活動の推進が図られた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合		
【今後の改善方針】 コロナ対策を踏まえながら、これまでの「生涯学習センター活動事業」「文化祭開催事業」を統合し、各地域の生涯学習の拠点として各種事業・講座を開催し、生涯学習の推進を図っていく。		
成果の方向性	拡充	(理由) センターで取り組む事業を統合し、各地域の生涯学習の拠点として各種事業・講座を開催し、生涯学習の推進を図っていく。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	生涯学習センター施設管理事業				事業通番	15771	
					開始年度	平成31年度	
総合計画体系	政策	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	終了年度	--	
	施策	5-2	施策名	生涯学習の充実	担当課名	教育文化課	
予算科目	会計	一般会計		款	教育費	担当係名	宮川生涯学習センター
	項	社会教育費		目	生涯学習センター費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町生涯学習センター条例、会津美里町生涯学習センター条例施行規則					
事務事業の概要	平成31年度4月から新公民館体制により、小学校区ごとに生涯学習センターを設置。これまで公民館であった各地域の公民館は、本郷生涯学習センター、新鶴生涯学習センターとし、高田地域の地区公民館においては、永井野地区公民館を宮川生涯学習センターとし、他の地区公民館は生涯学習センター分館とした。また、旧小学校体育館は生涯学習センター体育場として位置付け、本事業において安心・安全に活動できるよう適正管理に務めるものである。					
対象（誰、何を）	町民（利用者）					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	安全・安心に活動できている。					
成果の考え方	町民が安全で安心に活動できるよう適正な施設管理をすることにより、生涯学習センターを地域活動の拠点として、町民自らが学習活動などを行い、利用促進が図られる。					
【成果指標】						単位
A 延べ利用者数						人
B 事故件数						件

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)					26,713
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源					26,713

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	-	-	-	30,000
	-	-	-	-	18,571
B	-	-	-	-	0
	-	-	-	-	0

(3) 活動実績及び成果

活動実績	各センターの適正な維持管理のための修繕等を実施し、町民が安全に活動できるよう適正管理に努めた。令和5年度末をもって廃止とする高田地域生涯学習センターの各分館について、地区代表である自治区長との懇談会を5地区において実施した。
成果	町民の生涯学習の拠点として安心安全に活動できる場を提供し、生涯学習の振興が図られた。高田地域分館についての懇談会では、現在の施設利用状況、維持管理費等の資料を提示するなど情報共有を図り、令和5年度末をもって廃止すること、現段階では利用継続することの共通理解が図られた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
利用者が安全に利用できるよう施設の適正な維持管理に努めていく。本郷生涯学習センター移転整備計画については、関係各課と連携し計画的に進めていく。	
成果の方向性	拡充 (理由) 施設の適正な維持管理に努めるとともに、本郷生涯学習センター移転整備に向けて関係各課と連携し計画的に進める。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	複合文化施設運営管理費				事業通番	15851		
					開始年度	平成31年度		
総合計画体系	政策	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	終了年度	--		
	施策	5-2	施策名	生涯学習の充実	担当課名	教育文化課		
予算科目	会計	一般会計		款	教育費		担当係名	公民館
	項	社会教育費		目	公民館費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町複合文化施設条例、会津美里町複合文化施設条例施行規則、会津美里町複合文化施設管理規則、会津美里町公民館条例、会津美里町公民館条例施行規則、会津美里町公民館管理規則						
事務事業の概要	複合文化施設の設備整備や適正管理に務め、また複合文化施設を活用した事業を実施し、施設の利用促進と生涯学習の振興及び芸術文化の振興を図る。						
対象（誰、何を）	施設利用者						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	複合文化施設が町民の交流の場となり、生涯学習活動の拠点として活用され、また芸術文化に触れることのできる場となり、多くの方に利用されている。						
成果の考え方	「庁舎兼複合文化施設建設基本構想」の基本コンセプトの一つ「町民の学習活動や地域文化創造の交流拠点となる施設」「多くの町民が日常的に集い、親しみやすく、利用しやすい施設」が掲げられており、令和元年5月に会津美里町複合文化施設が開設された。開設後の利用状況を把握することにより、交流の拠点としての施設の適正管理に務めるものである。						
【成果指標】							単位
A	延べ施設利用者数						人
B	じげんホール利用件数						件

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)					6,320
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源					6,320

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	-	-	-	17,000
	-	-	-	-	15,938
B	-	-	-	-	400
	-	-	-	-	359

(3) 活動実績及び成果

活動実績	図書館と共催したじげんホールでのイベントによりホールの利活用促進を図った。 車イスの方に配慮したイベントができるよう昇降機の購入、コロナ禍での密を避けるための映像配信機器・紫外線照射による殺菌機械購入、施設内の抗菌抗ウイルス加工を行い安全安心に利用できるよう施設設備の充実を図った。 ホール音響・照明スタッフ協力により、効率的なホール利用に努めた。
成果	団体の方の活動の活性化が図られた。 談話室やフリースペースの開放により、幅広い年齢層の町民が交流の場として利用する機会が増え、また多くの学生が利用し学習意欲向上に繋がっている。 ホールの音響・照明スタッフの協力により、設備を十分に活用したイベントが開催できたため、イベント自体の成果が向上し高評価を得た。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
ホール音響・照明など施設設備の活用のために必要な操作協力員の確保に努め、各種設備の適正な維持管理に努めていく。	
成果の方向性	拡充 (理由) 利用者が安全安心に利用できる環境づくりのため、施設設備の適正な維持管理に努める。